

札幌市中央卸売市場青果棟のオープンについて

中央卸売市場は、施設の老朽化や狭あい化に対応し市場機能の抜本的な高度化を図るため、施設の全面建て替えを行う再整備事業を平成 10 年度から進めており、平成 12 年の立体駐車場、平成 15 年の水産棟に続き、このほど、青果棟が完成しました。

本市場は、札幌市はもとより北海道の生鮮食料品の流通拠点としての役割を担っており、青果棟では、年間 30 万トンを超える新鮮で多種多様な野菜や果実が取引されます。

なお、再整備事業は、来年度に予定しているセンターヤードなどの建設と、植栽などの外構工事を残すのみとなり、グランドオープンは平成 19 年を予定しています。

1 施設の概要

- (1) 所在地 札幌市中央区北 12 条西 20 丁目
- (2) 構造等 鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造 3 階建
- (3) 規模 建築面積 23,352 m² (全長 248m × 幅 94m) 延床面積 36,885 m²
- (4) 各階の配置

1 階	卸売場、仲卸売場(28 店舗)ほか
2 階	仲卸業者事務室、精算会社、見学者通路ほか
3 階	卸業者事務室(2 社)、関係団体事務室、食堂、札幌市保健所(広域食品対策担当)ほか

- (5) 工期 平成 16 年 8 月～平成 18 年 2 月(既存施設の解体工事期間を含む。)
- (6) 事業費 約 100 億円

2 施設の特徴

(1) 食の安全と安心のために

温度管理が必要な葉物野菜などを取り扱う低温卸売場を、従前より約 25%拡大し、品質管理の高度化を図っています。

< 整備前:1,352 m² 整備後:1,677 m² (325 m²増) >

(2) 開かれた市場づくりのために

- ・ 2 階から卸売場を見学できる見学者通路を設置しました。また、青果棟と水産棟との間を連絡通路でつなぐことにより、見学者の利便性、安全性の向上を図っています。
- ・ 見学ルート of 段差をなくし、車いす・オストメイト(人工肛門・人工ぼうこうの方)対応の多目的トイレを設置するなど、バリアフリーに配慮した施設としています。

グランドオープンに合わせて、見学者通路などに「食の流通・安全及び食文化についての学びの場」を基本コンセプトとした展示施設等を設け、見学施設の充実を図ることを計画しています。

本市場は、登録された小売業者などへの卸売りを行う施設であるため、一般の方が買い物をすることはできません。

(3) 省エネルギーと環境負荷低減のために

- ・ トップライト（建物の屋上に設置された窓）を利用して自然換気・自然採光を可能としたことにより、消費電力の削減を図っています。
- ・ 場内運搬車両の燃料や建物の冷暖房の熱源に天然ガスを使用し、排出ガスのクリーン化を図っています。

3 施設のオープン

(1) オープン式典

平成 18 年 3 月 20 日（月）午前 6 時 20 分～6 時 30 分(青果棟 1 階 B 通路北側)
テープカット、市長式辞など
式典終了後、施設内の公開を予定

(2) 取引開始

平成 18 年 3 月 20 日（月）午前 6 時 30 分～

4 再整備事業の全体計画

(1) 総事業費 370 億円（ 17 年度末の進捗よく率 約 85% ）

(2) 事業計画

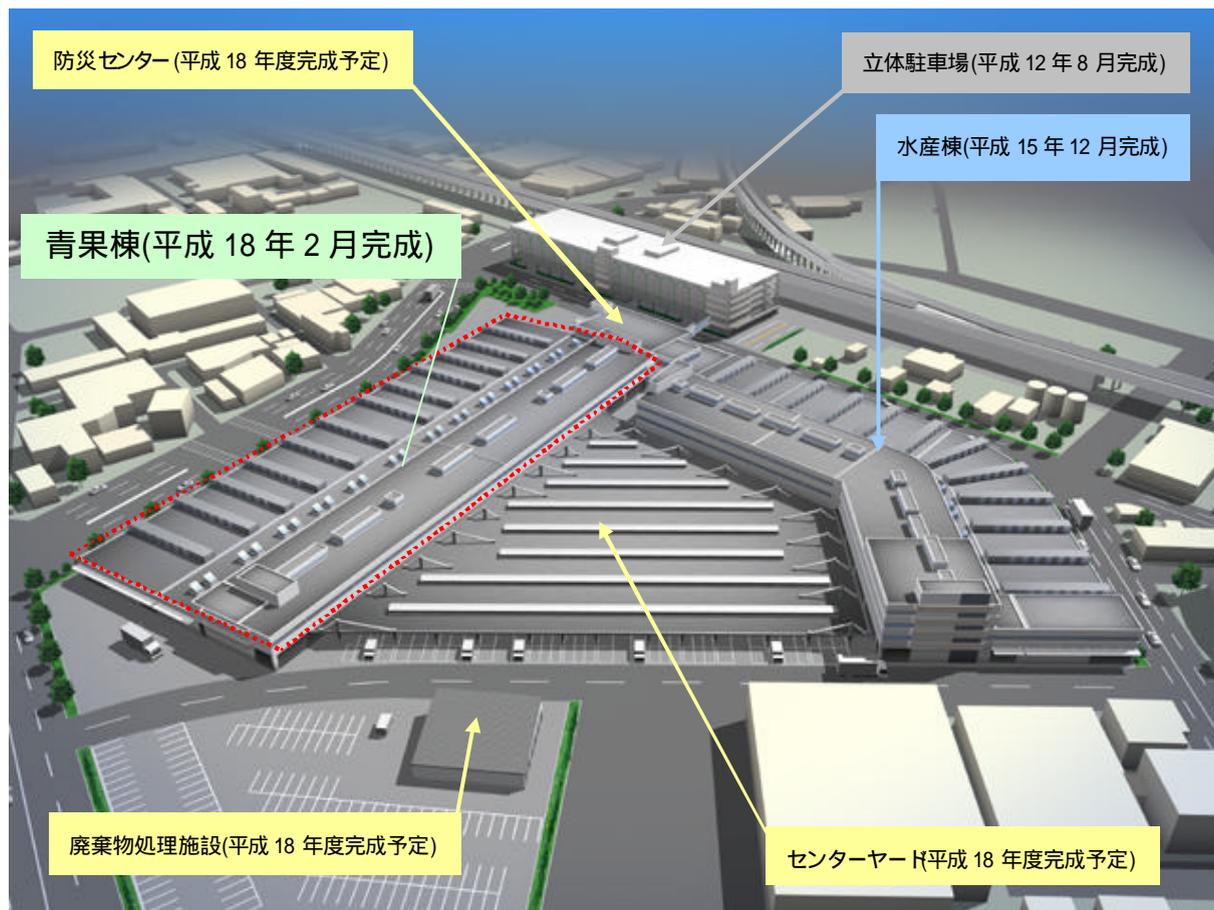
区 分	年 度
基本計画、基本設計	10～11
立体駐車場建設	11～12
水産棟建設（1期工事）	13～14
水産棟建設（2期工事）	15
青果荷捌所建設	16
青果棟建設	16～17
センターヤード・防災センター・廃棄物処理施設建設	18
外構整備	19

センターヤード...全天候型（屋根付き）駐車場（約 18,300 m²・駐車台数約 600 台）。
買出入（仲卸業者から販売を受ける魚屋、八百屋などの小売業者）
の駐車場としてだけでなく、荷さばきに使うなどの多目的利用を図る。

【問い合わせ先】

経済局中央卸売市場管理課（再整備担当） 電話 611-3116

札幌市中央卸売市場再整備事業完成予想図



札幌市中央卸売市場

- ・ 所在地 札幌市中央区北 12 条西 20 丁目 (札幌競馬場から南西 300m)
- ・ アクセス
 - J R バス 北 11 条西 20 丁目停留所 から徒歩 1 分
 - 地下鉄 二十四軒駅 から徒歩 10 分
 - J R 桑園駅 から徒歩 15 分
- ・ 電話 (011)611-3111 (管理事務所)